公益財団法人愛知教育文化振興会

教育と文化

No.142
令和8年11月



上ノ郷城跡主郭(左上)と三ケ月堀


上ノ郷観光ツアー


徳川家康役と鵜殿長照役


蒲郡西部小に土塁を復元


主郭に球根を植える

Contents

P2 大学生になった卒業生との再会から……
【巻頭言】 私たちはどう生きるか
愛知教育文化振興会常務理事 柵木智幸

P4 忠義を貫いた鵜殿長照と上ノ郷城跡
【三河の文化を訪ねて】
ふるさとの物語をつなぐ子どもたち 蒲郡西部小(蒲郡)

P6 刊行物の活用・新たな取組紹介
【特集】
学習・演習類ルビ版の活用 鷹丘小(豊橋)
F組における「振り返り学習」の取組 甲山中(岡崎)
新刊行物「学級活動アイデア集」の活用

P10 授業の中で効果的に刊行物を活用した事例の紹介
【刊行物の活用紹介】 つくる生活技術
授業づくりの道を照らす一冊 知立南中(知立)

P11 愛とありがとうがあふれる学校
【教室の窓辺】 みんなで創り上げる楽しさを 双葉小(刈谷)

P12 一日の始まりはアルプホルンで！
【特色ある教育活動】
自分の考えを豊かに表現し、共に高め合う子どもの育成
～キャリア教育の視点で～ 鳳来東小(新城)

P13 238名の先生方の教育実践研究を支援
令和8年度 個人研究助成対象者 研究成果論文提出者の紹介

P16 文振だより

巻頭言

私たちはどう生きるか



公益財団法人愛知教育文化振興会　常務理事　柵木　智幸

5年前、岡崎市立甲山中学校長を最後に教員生活を終え、現在、愛知教育文化振興会常務理事として、三河の教育文化の向上発展に寄与できるよう、微力ではありますが努めているところです。

先日、大学生になった甲山中の卒業生に再会しました。担任でも部活動顧問でもなかった私を覚えていてくれ、大変うれしく思ったところです。その再会では、卒業前に行った特別授業のことが話題になりました。教員生活38年の最後を締めくくる授業で、熱く語ったことを昨日のように思い出します…。

特別授業「君たちはどう生きるか」

「私の45年前の中学生時代は、学校は週6日あったものの、タブレット端末を除き、授業や部活動は今と大きく変わらないものでした。特に違ったのは家での生活です。メールはなく、友達に連絡を取るのは家の電話。音楽はレコードか、レコードやラジオ放送を録音したカセットテープ。写真はフィルムを使ったカメラ。ビデオカメラなんて触ったことがありません。近くにコンビニはなく、駄菓子屋に行って小銭で買い物をしたものです。

今や、スマートフォン一つで、電話やメール、音楽・映像の視聴、写真や動画の撮影、さらには財布代わりに買い物もできてしまいます。中学生の頃には夢にも見なかったことが現実になったのです。これからさらにAIが発展し、数十年後には当たり前のように家庭に人型ロボットがあり、家事等を手伝っているようになるでしょう。

ところが、私が新任教員の頃、40年後の2026年になるとAIが意思決定できるようになり、人型ロボットを操って人類を滅ぼそうとする映画が話題になりました。このような時代を絶対に現実にしてはいけないと思ったものです。

みなさんは、これからさらに高校等で学び続け、自分自身の社会での役割を見つけていきます。この先の未来で、「君たちはどう生きるか」、今日の授業をきっかけにしっかりと考えてみましょう。」

子どもたちは今…

2020年に世界に蔓延した新型コロナウイルスは、約2か月にわたる突然の休校から学校再開後のマスク生活、人との一定の距離の確保、集団での学びや遊びの制限、学校行事の中止や縮小等により、子どもたちの生活に大きな変化をもたらし、心身にも影響を与えました。さらに、コロナ禍で加速したタブレット端末導入によるデジタル教育の拡大は、授業改革を進めたものの、子どもたちのSNSやAI、インターネット動画等への依存を高め、対面での人とのかかわりを少なくしています。

このように、「人との関係不足×実体験不足×SNS・AI依存」の組み合わせは、子どもの発達にとって「負のスパイラル」を生み出しているように思われます。中高生の半数近くがSNSに起因するトラブルを経験し、SNS経由で中高生が強盗や詐欺に巻き込まれる事件も増加しています。

学校は今…

コロナ禍で中止や縮小された教育活動を再開するために、教員の働き方改革も相まって、行事の在り方などの見直しや改善に努力してきました。また、これまで学校が中心となって行っていた部活動の地域展開も進められています。

学校を取り巻く環境も大きく変化しました。子どもたちの心身の健康、いじめや性的被害などの事件に巻き込まれない対策として、SNSを禁止する国が出始め、日本でも禁止やその検討をする市町村の動きも聞くようになりました。ICT先進国では、行き過ぎた教育のデジタル化を見直し、紙や実体験への回帰が始まりました。日本においても、全国学力・学習状況調査の結果から、ICT機器を使う時間が長いほど、読解力、数学的リテラシー、自分で考える力が低下しているという報道も耳に新しいところです。このような状況下、各学校では、デジタル教育の課題解決のため、よりよいICT活用に合わせて情報モラルを指導するとともに、紙や実物を使った体験的な教育の価値を改めて認識し、実施しているところです。

本法人ができること…

これまで、各教科・領域の補助教材等として紙による刊行物を作成し、三河の子どもたちや先生方に親しまれています。また、学校のICT化に合わせて、教員用刊行物のPDF化、2次元コードによる豊富な学習情報の提供、さらにはデジタル採点支援システム「文振版リアテンダント」を導入してきました。



「ひらがな・かたかな」に取り組む（刈谷・衣浦小）

今後、本法人は、学校が抱える課題解決の一助として、体験的な学びを一層支援したいと考えています。義務教育段階の子どもたちは、発達に応じて、紙に書く体験を行いながら、タブレット端末に書き込んだり打ち込んだりすることに移行していくべきでしょう。そのために、書く体験の基礎となる「ひらがな・かたかな」や「ことばのきまり」、長文を書く体験もできる「作文の友」や「表現の友」等も大切にしていきます。加えて、日本の伝統文化体験として「絵画コンクール」、さらには、自然体験として「ネイチャーウォッチング」を継続実施するとともに、新たな体験活動の創出も探っています。

また、人とのかかわりを増やす必要があります。部活動が地域展開される中、一層充実させたい活動は、特別活動である学級活動や学校行事等だと思います。仲間と協力しての切磋琢磨や目標達成の経験は、人間関係の構築や将来的な精神的成長、社会人基礎力の育成にも役立つはずです。しかしながら、特別活動には教科書がなく、それぞれの学校文化で、先輩から後輩へと伝承されている場合が多くあります。そこで、学級活動の指導の流れが一目でわかり、グループや学級での交流を中心にし、適切な教材も入手できる教員向けの「学級活動アイデア集」を令和9年度に刊行します。

さらに、次期学習指導要領で小学校に「情報の領域」、中学校に「情報・技術科」が新設されることを鑑み、情報教育にかかる新たな小学校用教材の刊行と、中学校の「つくる生活技術」の改訂について検討を始めています。

私たちはどう生きるか

残念なことに、一部の大国リーダーが、自国第一主義等を追求するあまり戦争を始め、そこではAIを使用した無人のドローン戦闘機等が使われています。冒頭で紹介した映画のように、ロボットを使った戦争が現実になったかのようです。

特別授業「君たちはどう生きるか」の問いに、生徒たちは「AIに頼りすぎることなく、自分で考えて行動したい。」、また、「自分の幸せだけではなく、他の人も幸せにしていきたい。」と答えてくれました。

学校、保護者・地域、文化振興会をはじめ、子どもに関わる全ての者が一つになり、今後もこのような子どもたちを育てていくことが、AIに支配されるのではなく、AIをよりよく活用し、誰もが幸せに暮らせる平和な世界へとつながるはずです。

創立70周年を控える私たち愛知教育文化振興会は、「三河の教育文化の振興発展に寄与する」という目的を再確認し、持続可能な法人として、学校支援を続けてまいります。



学級の問題を話し合う（豊橋・牟呂中）

忠義を貫いた鵜殿長照と上ノ郷城跡

ふるさとの物語をつなぐ子どもたち

蒲郡市立蒲郡西部小学校　前教頭　竹尾　公孝
（現蒲郡西部・蒲郡北部小学校教諭兼務）

上ノ郷城とは

上ノ郷城は、蒲郡市中心部北、扇状地上の神ノ郷町城山の標高52メートルの丘にあります。鵜殿氏が居城とした平山城で、主に土塁と空堀からなる、戦国時代に作られた中世城郭に分類されます。水堀跡として南西に熊ヶ池、東側に人為的に流路を変更されたと考えられる兼京川が流れています。

主郭には井戸跡があり、西側は一段高くなっています。城内南に通称「三日月堀」と呼ばれる遺構、虎口と土塁が良い状態で残り、土塁上には城跡碑があります。城内外に畑やミカン畑が広がり、南に新幹線や市街地、三河湾が見えます。近くには、矢倉場や殿市場など城に関わる地名、鵜殿坂と呼ばれる坂（蒲郡北部小西側）があります。


虎口左 土塁上の城跡碑

鵜殿長照という人物

鵜殿氏は、かつて上ノ郷・下ノ郷・不相・柏原の諸城に勢力をもち、今の蒲郡の中心部を縦断して治めていました。鵜殿長照は、今川義元の妹が生母で、義元に重用された今川家の重臣であり、第四代上ノ郷城主です。ＮＨＫ大河ドラマ『どうする家康』では、第６話を中心に俳優・野間口徹氏が演じました。

長照は、今川方として桶狭間の戦いの前哨戦で、最前線の大高城の守備を任されました。そこに兵糧を運び込んだのが松平元康（後の徳川家康）です。今川方の盟友として織田信長と戦った二人は、桶狭間以後、袂を分かちます。

長照は、義元への恩義から今川氏につき、家康は、今川氏から独立し、政情が不安定化した三河地方で勢力を伸ばしました。その過程で、二人は対立していきます。

鵜殿長照と上ノ郷城の戦い

１５６２年、家康の勢力が上ノ郷城攻めを始めましたが、鵜殿方の堅い守りに妨げられました。その後、家康自身が出陣し、上ノ郷城北西の名取山を拠点に城攻めを行いました。家康は配下の忍者を初めて使い、夜に城内に火をつけ、その混乱に乗じて落城させたといわれています。この戦いで長照は討ち死にし、二人の息子は生け捕りにされました。二人は、家康の正妻、築山殿と長男の信康と交換されて解放され、今川方に仕えた後、徳川家の家臣となりました。上ノ郷城には家康の義父、久松俊勝が入城し、１５９０年まで治めましたが、家康の関東移封で廃城となりました。蒲郡市博物館には、発掘調査で見つかった上ノ郷城の戦いで使われたと思われる火縄銃の玉が所蔵されています。

上ノ郷城跡と蒲郡西部小学校

上ノ郷城跡は、蒲郡西部小学校から徒歩６分の所にあります。春に校区内を全校児童で巡る、なかよし班校外学習で訪れる身近な場所です。子どもたちとの関わりは深く、主に６年生が社会科や総合的な学習を通して深く学んでいます。上ノ郷城跡の学習のまとめとして、学芸会で鵜殿長照に関わる演目を上演していた記録もあります。

近年では、紙芝居「上ノ郷城物語」を作り、何度か上演しています。さらに、蒲郡市博物館の学芸員を招いた授業や学芸員と歴史の痕跡を巡る授業も毎年のように企画されてきました。そして、２０２２年には、学びの成果を「上ノ郷城跡と鵜殿家の歴史」というリーフレット（蒲郡西部小ＨＰと左の表紙写真参照）にまとめました。



リーフレット表紙

これは、子どもたちの手で上ノ郷城跡や蒲郡市西部公民館などで配布されたものです。ＪＲ東海さわやかウォーキングやナビテラス（蒲郡市観光交流センター）をはじめ、東京や名古屋のイベントなどで合計約９０００部が配布され、好評を博しました。

また、上ノ郷城跡に残る土塁に関心を高めた子どもたちは、校内に土塁を再現し、戦いの疑似体験を行ったこともあります。さらに、上ノ郷城跡と鵜殿長照にのめり込み、この地域の歴史遺産に価値を見出した子どもたちは、観光ツアーを企画しました。実際に学区を接する蒲郡北部小学校の６年生を案内したこともあります。


主郭にスイセンの球根を植える


土塁の再現に取り組む

また、地元有志による上ノ郷城跡保存研究会の活動にも協力しています。２０２０年から始まった「上ノ郷城跡スイセン　花いっぱい活動」への参加や、城跡の看板づくりもその一つです。

２０２３年には、蒲郡市民会館中ホールを満員にした舞台劇『「どうする家康」アナザーストーリー　鵜殿氏落日の彼方に』では、本校卒業の中学生が鵜殿長照役をはじめ、キャストやスタッフとして協力しています。

本年11月1日には、上ノ郷城跡主郭で行われる、地域財産を活かすまちづくり事業「いざ城山へ　出陣！」という交流イベントにも紙芝居「上ノ郷城物語」に6年生が出演する予定です。

このように蒲郡西部小学校では、６年生を中心に、ふるさと神ノ郷町の歴史を深く学んでいます。地域の方々の力を借りながら、ともに学び、上ノ郷城跡を中心とした歴史的な遺産の数々を共有し、後世につないでいこうという気持ちが育まれてきています。



舞台劇ポスター

上ノ郷城跡と周辺散策のすすめ

上ノ郷城跡には、石垣も天守閣もありません。ただ、毎月のように他県から訪問される方がいらっしゃいます。城・忍者マニアの中では有名な城跡のようで、市民としては誇りに思います。

しかし、鵜殿長照は敗者です。鎌倉時代以降、蒲郡の中心の一つとして、文化的にも繁栄していたこの地の主な建物は焼き払われ、廃城後は寂れていきました。みなさんもこの場に立ち、愚直に主君への忠義を貫き、盟友であった家康と戦うことになった長照を思ってみてください。そして、一度は家康軍を退けましたが、忍者によって家康と真正面から戦うことができなかった長照の気持ちにふれてみてはいかがでしょうか。ぜひ、蒲郡市博物館で販売されている、城郭イラストの第一人者、故香川元太郎氏による上ノ郷城復元鳥瞰図をご覧になって、往時を想像してください。そして、主郭からの眺めも楽しんでください。

散策時は、学校北の蒲郡市西部公民館にある上ノ郷城復元模型をご覧の上、同ＨＰと公民館にある、施設周辺案内（上ノ郷城跡）を参考にしてください。この地図はとてもよくできていて、分かりやすく楽しめます。

ふるさとの物語をつなぐ

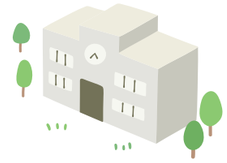
本校では、長年にわたり上ノ郷城跡に関わる様々な取組を重ねてきました。子どもたちは学びを通して、これまでこの地に積み重ねられてきた歴史や文化のエネルギーを吸収してきました。史実に子どもの創造力が加わり、新たな物語も生まれています。来年度、蒲郡西部小学校は閉校し、蒲郡北部小学校と統合します。新たに開校する「たちばな小学校」でも、ふるさとの物語をつないでいくことでしょう。





上ノ郷城跡の蒲郡西部小児童作品
主郭の腰掛にペイント（上）
東郭に立てられた看板（左）
※丸に三つ石は、鵜殿家の家紋

特集 刊行物の活用・新たな取組紹介



愛知教育文化振興会では、本年度、「学習・演習類ルビ版」の無償提供や「学級活動アイデア集PDF版」の配信等、新たな取組を始めました。今回の特集では、これらの取組に対する学校現場の声や、小学校の学習類を効果的に活用している中学校の実践を紹介します。

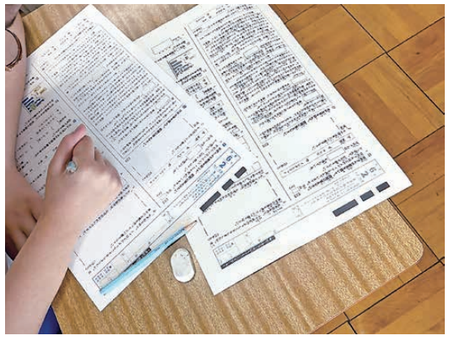
ルビ版を活用した、国際教室での学習支援

取組① 「学習・演習類ルビ版」の活用

豊橋市立鷹丘小学校　校長　中矢 政幸

◆ 日本語指導を必要とする児童のために

本校には、日本語指導を必要とする児童が在籍する「国際教室」があり、一人一人の実態に応じた学習支援を行っています。教材やワークシートにルビを付け、学習内容を理解しやすくするのもその一つです。しかし、文化振興会の「学習類」では、設問中の漢字が読めず、問題の内容を十分に理解できないため、本来の力を発揮しにくい場面が見られました。そこで、「学習・演習類ルビ版」を活用し、児童が自信をもって問題に取り組めるようにしています。



【自分の力で問題と向き合う児童】

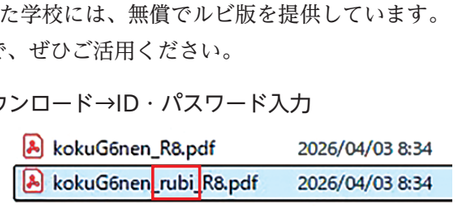
特に、取り出し指導を行っている国語と算数では、ルビ版が大いに役立っています。高学年では、通常版とルビ版の両方を提示し、児童自身が使いやすい方を選べるようにしています。ルビ版を見ながら通常版に解答する児童もおり、それぞれの実態に応じた活用ができています。また、中学年では算数のルビ版を使用することにより、児童が落ち着いて、自分の力で問題に向き合えるよう支援しています。

ルビ版を活用することで、児童が自分で問題文を読み進められるようになり、「まず読んでみよう」「やってみよう」という前向きな姿勢が見られるようになりました。児童からは、「漢字にひらがなが書いてあると、問題文が読めるからうれしい。」という声も聞かれ、学習への意欲につながっています。また、教師にとっても、ルビを付ける作業の負担が軽減されるだけでなく、児童の日本語の読みの力に左右されることなく、教科の内容をどの程度理解しているかを、より適切に見取ることができるようになりました。

今後も、児童一人一人の実態に応じてルビ版を活用し、安心して学び、自信をもって力を発揮できる学習環境づくりに生かしていきたいと考えています。

「学習・演習類」を採用していただいた学校には、無償でルビ版を提供しています。以下の方法でダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

① 文振HP→学校関係用→教材PDFダウンロード→ID・パスワード入力
② 刊行物・学年を選択→ダウンロード
③ rubi とあるファイルを開く





小学校の教材を活用した、中学校での学び直しの実践

取組② F組における「振り返り学習」の取組

岡崎市立甲山中学校　校長　宇都木 靖弘

岡崎市では、長期欠席傾向の児童生徒や集団になじめない児童生徒の居場所を確保するとともに、社会的な自立に向けて個別最適な学びの場を保障し、多様な教育機会を確保するために、校内フリースクール・F組を設置しています。

本校のF組でも、学校生活に困り感等を抱える生徒が、安心して過ごせる環境づくりに配慮しながら、生徒が自分のペースで学習を進められるよう工夫しています。

日々の生徒との対話や、昨年度４月に実施した全生徒との個人面談から、「勉強したい気持ちはあるけど、やり方が分からない。」「基礎からもう一度勉強したい。」といった切実な声を多く聞きました。そこで、このような生徒の求めに寄り添い、個に応じた学習支援にも注力することにしました。

◆ 愛知教育文化振興会の小学校版副教材を活用した「振り返り学習」の実践

F組では、生徒自身が１週間の学習計画として「マイ時間割」を作成するなど、自分のペースで学習に取り組めるようにしています。学習内容としては、在籍学級の授業の予習や復習以外にも、生徒の理解度に応じて小学校段階まで戻った「振り返り学習」を取り入れています。この学習では振興会の小学校版「学習プリント」等を教材として活用しています。



【教室の様子】

これらは、小学校の学習内容が系統的に構成されており、着実に学習を進めることができます。また、１枚あたりの分量が適度であるため、１時間の学習の中で最後まで取り組みやすく、生徒は「できた」「やり切った」という達成感を感じています。その成功体験の積み重ねが、「分かる」「進められる」という自信につながり、学習に対する前向きな姿勢を育むことができています。

さらに、多くの生徒にとって、「見慣れている」「取り組みやすい」という安心感が、学習への心理的なハードルを下げることにもつながりました。

最初は小学校の教材を使うことへの抵抗感を示す生徒もいましたが、教材の取り組みやすさを実感し、徐々に抵抗感が薄れ、自ら進んで学習に向かう姿が見られるようになりました。その姿勢に刺激を受け、他の生徒も「振り返り学習」に挑戦するなど、前向きな学習の雰囲気がF組全体に広がっています。

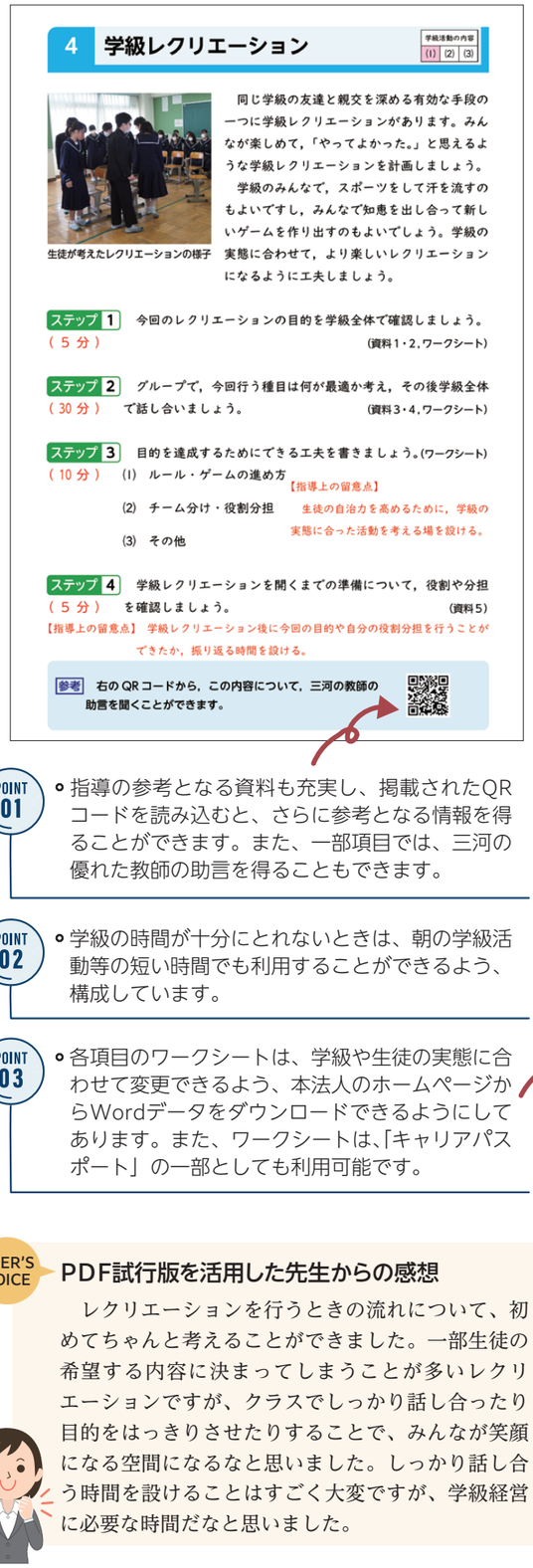


【実際に使用した学習プリント】

◆ 成果と今後の展望

こうした取組により、定期テストに挑戦する生徒や、在籍学級で授業を受ける時間を少しずつ増やす生徒も見られるようになりました。また、「私も小学校の内容から復習したい。」という生徒や、他の生徒の頑張りに刺激を受け、「理科だけ勉強してみようかな。」と自ら学習し始める生徒など、小さな挑戦が連鎖する様子も見られました。生徒自身が自分の課題や目標を言葉にしながら、主体的に学習へ向かう姿勢が育ってきたことや、自己肯定感の高まりを実感しています。

今後も生徒の気持ちに寄り添いながら、学習支援を続けていきたいと思っています。



4　学級レクリエーション

学校活動の内容　(1)　(2)　(3)

生徒が考えたレクリエーションの様子

同じ学級の友達と親交を深める有効な手段の一つに学級レクリエーションがあります。みんなが楽しめて，「やってよかった。」と思えるような学級レクリエーションを計画しましょう。

学級のみんなで，スポーツをして汗を流すのもよいですし，みんなで知恵を出し合って新しいゲームを作り出すのもよいでしょう。学級の実態に合わせて，より楽しいレクリエーションになるように工夫しましょう。

ステップ 1　今回のレクリエーションの目的を学級全体で確認しましょう。
（５分）　(資料１・２，ワークシート)

ステップ 2　グループで，今回行う種目は何が最適か考え，その後学級全体で話し合いましょう。
（30分）　(資料３・４，ワークシート)

ステップ 3　目的を達成するためにできる工夫を書きましょう。(ワークシート)
（10分）
(1)　ルール・ゲームの進め方
(2)　チーム分け・役割分担
(3)　その他

【指導上の留意点】
生徒の自治力を高めるために，学級の実態に合った活動を考える場を設ける。

ステップ 4　学級レクリエーションを開くまでの準備について，役割や分担を確認しましょう。
（５分）　(資料５)

【指導上の留意点】 学級レクリエーション後に今回の目的や自分の役割分担を行うことができたか，振り返る時間を設ける。

参考　右のQRコードから，この内容について，三河の教師の助言を聞くことができます。

POINT 01
- 指導の参考となる資料も充実し、掲載されたQRコードを読み込むと、さらに参考となる情報を得ることができます。また、一部項目では、三河の優れた教師の助言を得ることもできます。

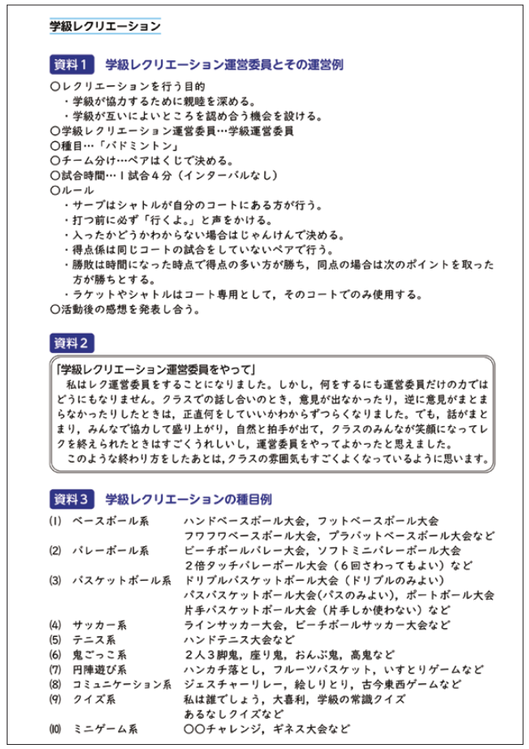
POINT 02
- 学級の時間が十分にとれないときは、朝の学級活動等の短い時間でも利用することができるよう、構成しています。

POINT 03
- 各項目のワークシートは、学級や生徒の実態に合わせて変更できるよう、本法人のホームページからWordデータをダウンロードできるようにしてあります。また、ワークシートは、「キャリアパスポート」の一部としても利用可能です。

USER'S VOICE

PDF試行版を活用した先生からの感想

レクリエーションを行うときの流れについて、初めてちゃんと考えることができました。一部生徒の希望する内容に決まってしまうことが多いレクリエーションですが、クラスでしっかり話し合ったり目的をはっきりさせたりすることで、みんなが笑顔になる空間になるなと思いました。しっかり話し合う時間を設けることはすごく大変ですが、学級経営に必要な時間だなと思いました。



学級レクリエーション

資料１　学級レクリエーション運営委員とその運営例

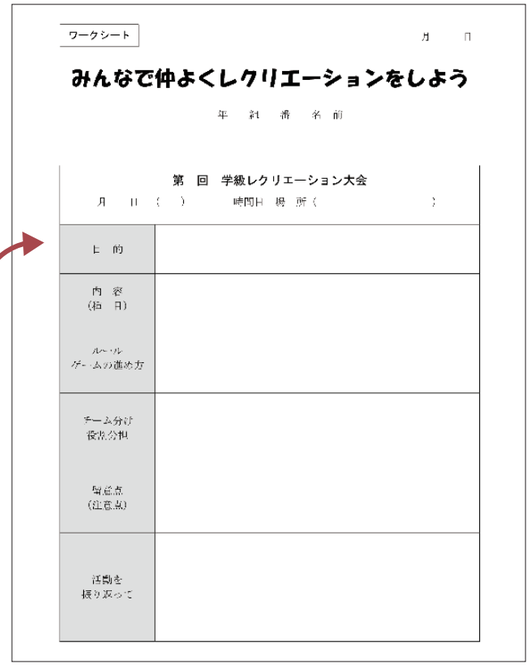
○レクリエーションを行う目的
・学級が協力するために親睦を深める。
・学級が互いによいところを認め合う機会を設ける。
○学級レクリエーション運営委員…学級運営委員
○種目…「バドミントン」
○チーム分け…ペアはくじで決める。
○試合時間…１試合４分（インターバルなし）
○ルール
・サーブはシャトルが自分のコートにある方が行う。
・打つ前に必ず「行くよ。」と声をかける。
・入ったかどうかわからない場合はじゃんけんで決める。
・得点係は同じコートの試合をしていないペアで行う。
・勝敗は時間になった時点で得点の多い方が勝ち，同点の場合は次のポイントを取った方が勝ちとする。
・ラケットやシャトルはコート専用として，そのコートでのみ使用する。
○活動後の感想を発表し合う。

資料２

「学級レクリエーション運営委員をやって」
私はレク運営委員をすることになりました。しかし，何をするにも運営委員だけの力ではどうにもなりません。クラスでの話し合いのとき，意見が出なかったり，逆に意見がまとまらなかったりしたときは，正直何をしていいかわからずつらくなりました。でも，話がまとまり，みんなで協力して盛り上がり，自然と拍手が出て，クラスのみんなが笑顔になってレクを終えられたときはすごくうれしいし，運営委員をやってよかったと思えました。
このような終わり方をしたあとは，クラスの雰囲気もすごくよくなっているように思います。

資料３　学級レクリエーションの種目例

(1)	ベースボール系	ハンドベースボール大会，フットベースボール大会 フワフワベースボール大会，プラバットベースボール大会など
(2)	バレーボール系	ビーチボールバレー大会，ソフトミニバレーボール大会 ２倍タッチバレーボール大会（６回さわってもよい）など
(3)	バスケットボール系	ドリブルバスケットボール大会（ドリブルのみよい） パスバスケットボール大会(パスのみよい)，ボートボール大会 片手バスケットボール大会（片手しか使わない）など
(4)	サッカー系	ラインサッカー大会，ビーチボールサッカー大会など
(5)	テニス系	ハンドテニス大会など
(6)	鬼ごっこ系	２人３脚鬼，座り鬼，おんぶ鬼，高鬼など
(7)	円陣遊び系	ハンカチ落とし，フルーツバスケット，いすとりゲームなど
(8)	コミュニケーション系	ジェスチャーリレー，絵しりとり，古今東西ゲームなど
(9)	クイズ系	私は誰でしょう，大喜利，学級の常識クイズ あるなしクイズなど
(10)	ミニゲーム系	○○チャレンジ，ギネス大会など



ワークシート　　月　日

みんなで仲よくレクリエーションをしよう

年　組　番　名前

第　回　学級レクリエーション大会
月　日（　）　時間目　場所（　）

目的	
内容 (指　日) ルール ゲームの進め方	
チーム分け 役割分担 留意点 (注意点)	
活動を 振り返って	

上記ワークシートは，本冊子をダウンロードした「愛知教育文化振興会ホームページ」→「学校関係用」→「＃三河の先生応援ページ」→「学級活動アイデア集」→「Word データ」に掲載してあります。全データを一括ダウンロードしてから，必要に応じて変更し，ご活用ください。

取組 ③

新刊行物「学級活動アイデア集」の活用

今こそ学級活動の充実を！　教師のための「学級活動アイデア集(中学校用)」を刊行します。

自主性や社会性、粘り強く取り組む態度など、社会人としての基礎力の育成にも寄与してきた部活動も、地域展開が始まり、いずれは学校教育から切り離されていく方向のようです。また、コロナ禍やタブレット端末の学校導入により、以前よりも他者と関わる機会が少なくなっていることも否めません。

このような教育環境の大きな変化に対して、今こそ特別活動である学級活動や学校行事等を充実させることが必要です。特別活動には教科書がなく、それぞれの学校文化の中で、先輩教師から後輩へと伝承されている場合が多いでしょう。しかしながら、その伝達がうまくいっておらず、ともすると学級の時間が、単に席替え、行事の係や選手決め、その練習などの時間になっていることがあるかもしれません。

このアイデア集を参考にして、学級活動をより充実したものにし、生徒一人一人の自主性や社会性、多様な他者と協働しようとする態度などの育成の一助にしてください。

内　容

項目	学級活動の内容 (1)	(2)	(3)	学級活動・安全教育
1	○			学級の目標，自分の目標
2	○			学校の一員として，生徒会や学級の組織づくり
3		○	○	望ましい授業態度
4	○			学級レクリエーション
5	○			行事への参加（体育祭・文化祭・修学旅行など）
6		○	○	社会の一員としての自覚と責任
7	○			学校の活性化　～生徒会活動を盛り上げよう～
8	○			生活の見直し・私の長所と短所
9			○	将来の希望と進路の選び方　～人生設計～
10			○	進路の決定と卒業後の生活（３年生用）
11	○	○	○	１年間を振り返って（１・２年生用）
12	○	○	○	卒業にあたって（３年生用）
13		○		登下校の安全と交通マナー
14		○		自転車の安全な利用
15		○		大地震に備えよう，避難防災訓練への取り組み
16		○		非常時の対応，不審者対応
17		○		インターネットの使い方と情報モラル
付録１				朝の会，帰りの会のもち方
付録２				「立志式」の進め方（例）
付録３				学期まとめ用ワークシート（３種類）

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

※中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　特別活動編
第１節　学級活動　２　学級活動の内容　参考





授業づくりの道を照らす一冊
『つくる生活技術』

知立市立知立南中学校　教諭
矢田　真士

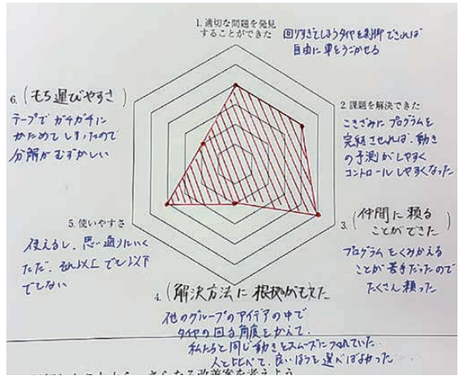
私が初めて技術・家庭科の教員として教壇に立った時、教科書のどこを、どのように押さえればよいか悩んだことを思い出す。同じ教科を扱う先輩が傍にいない中で、何度も立ち止まってしまうことがあった。そんなとき、静かに寄り添ってくれる一冊が、この『つくる生活技術』であった。本稿ではその詳細をお伝えしたい。

教科書の知識を結ぶ「まとめノート」

本書の特長は、教科書の記述に沿って学習をまとめられる構成にある。本文の流れに沿って重要語句を空欄化し、書き込みながら理解を確かめられるようになっている。そして、空欄となるのは太字の重要語だけではなく、授業で「ここが要になる」「この後の学習につながる」と考えられる言葉にも、同じように空欄が設けられている。そのため、生徒と授業の振り返りをする際に、「なぜ空欄になっているのか」を生徒と共に考えることで、教科書の内容をただ書き写すのではなく、押さえるべき知識や、それらを関連付けて考える視点を自然と身に付けられる。

実践を支える汎用性のあるワークシート

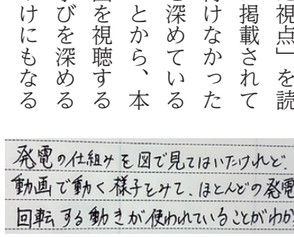
教科書によくある「調べてみよう」「試してみよう」といった実践的な問いに対応するワークシートが用意されている。手を動かし、自分の頭で考える場面までを、一冊の中で完結できる。そして学びの最後には、教科書の振り返り項目に準じた自己評価表や評価グラフも収録されている。資料「評価グラフを用いた振り返り」は、実際に生徒と振り返りで使用したものである。評価項目が活動に応じて自由に設定できるようになっており、生徒と共に考えることができる仕様となっている。授業では生徒自身で評価項目を設定することで、学習の中で大切にすべき「見方・考え方」に迫ることができたと感じている。また、評価理由やメモを書き込めるスペースも設けられており、学習すべき軸は残しつつ、使い方に自由度をもたせた汎用性のあるものとなっている。



評価グラフを用いた振り返り

動画を活用できるQRコード

教科書の内容を扱う中で、「本物を見せたい」「実際に動いている様子を見せたい」という場面では、参考となるQRコードがページに掲載されている。資料「動画で気づいた視点」を読むと、生徒が教科書に掲載されている画像のみでは気付けなかった視点に気付き、学びを深めていることがわかる。このことから、本書のQRコードの動画を視聴する場を設けることで、学びを深める視点を発見するきっかけにもなると感じている。



掲載されているQRコード

動画で気付いた視点

多くの先生方と情報共有

三河地区の先生方の多くが使用している本書は、教材研究や授業内容の悩みを、三河の先生方と共有しながら、共に進むことができる。また、基本に忠実な授業を進められるだけでなく、汎用性も高く、教師と目の前の子どもたちが活用方法を工夫することで、学習を深めることができる。魅力的な本書を、今後も有効に活用していきたい。



教室の窓辺

みんなで創り上げる楽しさを

刈谷市立双葉小学校　教諭　渡邊　三季

双葉小学校の委員会組織には、児童会役員と4・5・6年生の学級代表で構成される計画委員会というものがある。その計画委員会の初の大仕事が、6月に行われる「なかよし集会」の企画・運営である。この会は、ペア活動を通して、双葉っ子の仲を深めるための大切な集会である。

第1回目の委員会から、早速準備が始まった。双葉っ子全員が楽しめる会にするために、「交流がたくさんできた方がいいから、ミッションを一緒にクリアしていくゲームをすると楽しそうだよね。」「先生たちも巻き込めるともっと楽しくなりそうだね。」など、学年関係なく熱い話し合いが繰り広げられた。その結果、先生たちも巻き込みながら、ペアの子と楽しめるゲームやクイズをすることに決まった。

4年生がなかよし集会をお知らせするポスター作り、5・6年生がミッション作りとクイズ作りを担当することになった。準備を進めていく中で、「新しく双葉小に来た先生の紹介をふまえたクイズにしたいね。」「双葉小についてみんなに知ってもらいたいことを入れようよ。」「先生たちと交流できる時間をつくるのにじゃんけんするのはどうかな。」など、さまざまな意見を取り入れながら準備を進めた。クイズに協力してもらう先生に事前にアポイントをとってインタビューをしに行くなど、自分たちで考えて行動する姿も見られ、頼もしさを感じた。

なかよし集会当日、計画委員は、会場準備や司会進行という大役を担った。子どもたちは、会場全体を見ながら、予定した時間と、その場の状況に応じて臨機応変に対応していた。最初は緊張していた子も、自分たちで内容を考え、準備を重ねてきた自信から、堂々と進行を務めることができた。参加した双葉っ子や先生方が楽しそうに活動する姿を見て、自分たちの力で会を創り上げることの喜びや達成感を味わうことができたようである。同時に、主体的に行動することの大切さや、仲間と協力して一つの目標を達成することの素晴らしさも学ぶことができた。



なかよし集会　スライド

なかよし集会に向けた活動は、計画委員の子どもたちにとって大きな成長の機会となった。今回の経験を生かし、今後も学校のために進んで協力して活動することを期待している。そして、「自分たちで創り上げる楽しさ」を、委員会活動や学校生活のさまざまな場面で発揮し、よりよい学校づくりにつなげていってほしい。


なかよし集会を楽しむ双葉っ子

なかよし集会当日、計画委員会の子どもたちが自ら考え判断し、臨機応変に集会を運営する姿に、本校が目指す「愛とありがとうがあふれる学校」の理想像を見ました。自分たちの手で創り上げたという成功体験は、子どもたちの大きな自信となり、今後の学校生活を豊かにする原動力となるはずです。

この集会の成功の背景には、子どもたちの「やってみたい」気持ちを大切にし、時に寄り添い、時に見守りながら、主体的な行動を引き出した渡邊教諭の温かい指導と熱い思いがあります。

子どもたちのたくましい成長を心から嬉しく思うとともに、素晴らしい指導力を発揮した渡邊教諭の今後のさらなる活躍を期待しています。

（校長　濱口　留美）

特色ある教育活動

―「郡市教育・研究助成」を生かした取組紹介―

自分の考えを豊かに表現し、共に高め合う子どもの育成

～キャリア教育の視点で～

新城市立鳳来東小学校　校長　大矢　幹人

本校は、新城市の東の端に位置し、全校児童12名の小規模校です。校区には鳳来湖や乳岩峡があり、自然豊かな地域です。この景観がスイスに似ていることから、35年前から高学年児童がスイスの伝統楽器「アルプホルン」を吹き、始業や行事の合図として使用しています。

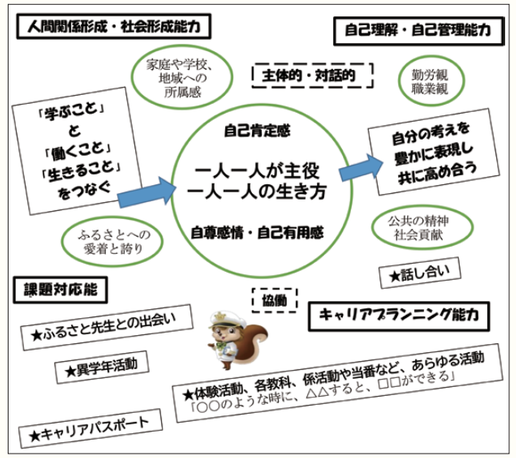
子どもたちは、純粋で学習に前向きに取り組むというよさをもっている反面、自分の思いをうまく伝えることができなかったり、友達の意見に歩み寄れず衝突したりする姿が見受けられました。令和６年度に新城市教育委員会の委嘱を受けたことを機に、研究主題を「自分の考えを豊かに表現し、共に高め合う子どもの育成～キャリア教育の視点で～」として研究に着手しました。



始まりの合図はアルプホルンで

キャリア教育の視点とは

本校のキャリア教育では、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」など、将来、社会的・自律的に生きるための能力・態度をどう育てるのか、体験活動や地域との出会いを通じて自己肯定感・自己有用感をどう高めるのかを、すべての教科や学校行事で視点として位置づけ、実践に取り組んでいます。



研究のグランドデザイン

自由進度学習を取り入れた複式授業

５・６年生の複式学級では、算数科において５年「サッカーのW杯の優勝賞金を当てよう～割合（1）～」、６年「学校一の大食いは誰だ？～分数÷分数～」として単元を組み、自由進度学習を取り入れて実践を行いました。

キャリア教育は自由進度学習と親和性が高く、自律性と自己管理能力、課題発見・解決能力、主体的な意思決定の経験などが培われます。実際の授業では、問題の解き方がわからないときには、自分で教科書を使って既習事項から考えたり、友達と解き方を一緒に考えたりする場面が見られました。説明するときも相手にわかるような言葉を選び、説明している姿が見られました。子どもたちの振り返りからは、「友達と一緒に考えられたので、効率的に問題を解くことができた。」、「授業の最初は難しいと感じたけれど、最後は簡単に解けるようになった。」など、主体的に取り組めたことや協働的に取り組めたことに満足感を抱いている様子がうかがわれました。



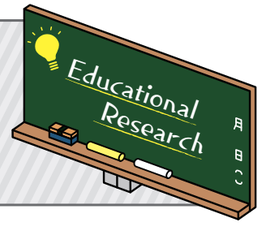
学び合いの様子

研究の成果と今後の課題

研究の成果としては、子どもの意識の変化が挙げられます。授業や朝のお話タイムで進んで発言をしたり、遊びの時間に友達とうまくコミュニケーションを取ったりする子どもが増えてきました。また、学んでいることと自分の将来とのつながりを感じたり、人に感謝する気持ちの大切さに気づいたりする場面も多くなりました。

今後の課題としては、まだ発言に消極的な子どももおり、自分の思いを伝える場を意識的に設け、支援をしていく必要性を感じています。また、子どもの思い、地域や体験活動などを大切にしながら、授業・生活習慣・伝統的な活動をキャリア教育の視点で見つめ直し、目標を意識し価値づけすることが、今後も必要だと考えています。

令和８年度　個人研究助成



本法人では、先生方の研究を支援しています。本年度は、１年次研究、２年次研究、３年次研究において、以下の先生方に助成しました。また、３年次研究を終えられて、研究成果論文を提出された先生方を対象に、最終審査を行い、来年２月に優秀論文の表彰式を開催します。

〈１年次〉（178名）

研究領域	郡市	学校名	氏　名
国語(小)	岡崎	三島小	橋村　潮
	岡崎	矢作西小	里見　真帆
	岡崎	小豆坂小	山田　桃葉
	岡崎	北野小	杉本　光
	岡崎	北野小	中村かんな
	岡崎	六ツ美西部小	井上　清美
	豊田	梅坪小	玉﨑友璃菜
	豊田	浄水小	三浦恵利佳
	安城	錦町小	山村　修平
	安城	丈山小	濵山　瑞希
	西尾	鶴城小	木内　愛弓
	西尾	平坂小	松本　愛
	西尾	矢田小	松原　一花
	西尾	矢田小	酒井　大志
	西尾	一色南部小	古居　虎泰
	西尾	横須賀小	下山　琉華
	高浜	高取小	藤井　大輔
	みよし	三吉小	片倉　茉優
	幸田	幸田小	氏田　雅穂
	幸田	荻谷小	徳永　好汰
	幸田	豊坂小	畑田　碧渚
	豊橋	下地小	村松　佑香
	豊橋	福岡小	渡瀬めぐみ
	豊川	一宮西部小	加藤　誠貴
	豊川	御津南部小	川合かのこ
	蒲郡	蒲郡南部小	堀野　紗代
	新城	東郷東小	安形　美樹
国語(中)	岡崎	矢作北中	北村　友恵
	岡崎	竜南中	小島　綾夏
	安城	安城南中	神谷　直穂
	西尾	寺津中	山本　涼菜
	西尾	一色中	三浦　大輝
	知立	竜北中	小嶋華代子
	高浜	高浜中	加藤　蓮果
	蒲郡	蒲郡中	奥村　彩花
	蒲郡	蒲郡中	都築　雅代
	蒲郡	三谷中	木下　敦史
社会(小)	岡崎	六名小	伊庭太一郎
	岡崎	連尺小	畔柳　優
	豊田	堤小	細川　沙織
	豊田	駒場小	浮穴　瑞木
	西尾	一色南部小	佐野　大晟
	幸田	幸田小	伊藤　唯
	豊橋	飯村小	内藤　綾香
	蒲郡	塩津小	伊藤　勇人

研究領域	郡市	学校名	氏　名
社会(小)	蒲郡	大塚小	夏目さくら
社会(中)	岡崎	竜海中	宮城　瑠偉
	岡崎	葵中	西田　雄哉
	岡崎	城北中	好田　凜
	岡崎	額田中	松浦　圭祐
	豊田	若園中	大久保茉実
	西尾	西尾中	鈴木　秀輔
	高浜	南中	鈴木　美里
	みよし	三好中	大倉　彩加
	豊橋	羽田中	川田　悠人
	豊川	代田中	神谷　陽斗
	豊川	小坂井中	狩俣　海生
	豊川	小坂井中	板倉　靖
	蒲郡	蒲郡中	藤井　大樹
算数(小)	岡崎	本宿小	佐藤　駿
	岡崎	大門小	稲葉　好花
	豊田	堤小	藤根　昌樹
	豊田	西広瀬小	清水　優衣
	豊田	小原中部小	橋本　翔
	豊田	小原中部小	本荘ひま里
	豊田	巴ケ丘小	釜屋　春香
	安城	安城東部小	清水　美早
	安城	祥南小	田ノ上綺美
	西尾	一色中部小	髙須　幹大
	西尾	一色中部小	舟橋　磨紀
	高浜	高取小	横尾さくら
	高浜	翼小	池尻　萌香
	高浜	翼小	前平　卓
	みよし	三好丘小	岩崎　俊希
	幸田	中央小	淺川　佑紀
	幸田	中央小	林　心音
	幸田	中央小	諸岡　伶奈
	幸田	深溝小	野村日奈子
	幸田	豊坂小	谷川　怜美
	幸田	豊坂小	樫山　柊
	豊川	八南小	井口　百萌
	豊川	御津南部小	尾﨑　日菜
数学(中)	岡崎	甲山中	細井　美希
	岡崎	葵中	竹田　竜馬
	碧南	新川中	櫻井　泰希
	安城	安城北中	鈴木　滉也
	高浜	高浜中	山下　広樹
	幸田	南部中	水谷　新梧
	豊川	小坂井中	大江　隼介
	蒲郡	三谷中	池下　昂汰

研究領域	郡市	学校名	氏　名
理科(小)	豊田	小原中部小	舩間　雅代
	幸田	幸田小	森嶋　純菜
	新城	鳳来中部小	鈴木美穂子
理科(中)	安城	安城南中	大下　晴
	安城	安城北中	清水　亮牙
	高浜	南中	杉浦　渓太
	幸田	南部中	波塚　大貴
	豊橋	南陽中	小川　昇汰
	蒲郡	蒲郡中	井立　貴久
	蒲郡	三谷中	吉田　敏希
	新城	東郷中	重藤　知春
	田原	田原中	大西　卓也
音楽(小)	岡崎	連尺小	佐藤　明子
	岡崎	北野小	齋田　樹
音楽(中)	幸田	北部中	志賀　宥美
	豊橋	南部中	石川　真優
	蒲郡	三谷中	山田　博登
図画工作(小)	岡崎	上地小	磯谷　南奈
美術(中)	西尾	平坂中	須江みれい
技術・家庭(中)	碧南	新川中	竹内あかね
	高浜	高浜中	黒川　真帆
	蒲郡	蒲郡中	松村梨々子
	蒲郡	三谷中	小松　加奈
体育(小)	岡崎	連尺小	堀　香琳
	岡崎	奥殿小	羽地　広輔
	岡崎	岩津小	宮本　晃輔
	岡崎	岩津小	鳥居　由雅
	岡崎	六ツ美西部小	小黒　柚葉
	豊田	浄水北小	羽根田恭兵
	安城	安城東部小	藤田　遼一
	西尾	花ノ木小	加藤　良輝
	高浜	高浜小	渡邊　凪紗
	豊橋	下地小	小池　摩衣
	豊橋	飯村小	小川　久貴
保健体育(中)	岡崎	甲山中	小澤　秀斗
	岡崎	城北中	山加　凜
	岡崎	竜南中	小池　哲平
	刈谷	富士松中	井口　香奈
	安城	安城南中	深田　栞里
	安城	篠目中	藤田　将生
	幸田	幸田中	織田　駿
	蒲郡	蒲郡中	牧原　充典
	蒲郡	三谷中	市川　周汰
外国語活動・外国語(小)	豊田	青木小	榎本　璃乃

研究領域	郡市	学校名	氏　名
外国語(中)	岡崎	甲山中	河野　峰荷
	碧南	西端中	本間　洋亮
	安城	篠目中	山本　創
	安城	篠目中	近藤　一輝
	西尾	寺津中	新谷　悠月
	西尾	一色中	寺澤　真華
	幸田	幸田中	杉浦　龍太
	豊川	金屋中	板倉　雅幸
生活(小)	安城	安城南部小	大嶋　紗弥
	安城	高棚小	野村　良平
	安城	三河安城小	藤井　七海
	蒲郡	蒲郡東部小	鈴木　和真
	蒲郡	塩津小	中川穂乃里
	蒲郡	形原北小	中野渡幸菜
	蒲郡	三谷東小	谷本　宙
道徳(小)	岡崎	大門小	田中章太郎
	刈谷	富士松東小	神田　結衣
	豊田	青木小	武藤　恒二
道徳(中)	豊田	稲武中	二宮　健悟
学校保健(小)	西尾	寺津小	杉浦　有紀
特別支援教育(小)	豊田	小原中部小	齋藤　由美
	西尾	鶴城小	間宮　圭太
	西尾	鶴城小	三浦　千鶴
	西尾	三和小	廣　知里
	高浜	吉浜小	幸野　朱里
	幸田	坂崎小	正木　雄志
	田原	大草小	山内　翔太
特別支援教育(中)	北設楽	東栄中	岡本　悠暉
総合的な学習(小)	岡崎	下山小	原田　康司
	豊田	小原中部小	齋藤　健司
総合的な学習(小)	西尾	寺津小	竹下　佳世
	蒲郡	中央小	鈴木　愛也
	田原	衣笠小	牧野加奈子
総合的な学習(中)	豊田	旭中	柴田　悠幾
情報教育(小)	岡崎	竜谷小	山本　浩司
	岡崎	竜谷小	田邊　純渚
特別活動(小)	碧南	大浜小	岡田　圭祐
	豊田	中金小	八代　知里
	高浜	港小	吉川　謙佑
特別活動(中)	碧南	南中	藤田　理子
学校図書館(小)	豊田	伊保小	清水　菜摘
生徒指導(小)	豊田	小原中部小	向井　周
学級経営(小)	安城	安城北部小	酒井　希美
日本語教育(中)	碧南	東中	今村　真帆

〈2年次〉(50名)

研究領域	郡市	学校名	氏　名
国語(小)	岡崎	小豆坂小	常山友美佳
	幸田	幸田小	堀田　花音
	幸田	中央小	清家　将太
	幸田	豊坂小	伊藤早里菜
	蒲郡	形原北小	神納　紅葉
国語(中)	岡崎	甲山中	鈴木　慶輝
	岡崎	矢作北中	次井　祥太
	西尾	一色中	宮川　周
	知立	竜北中	佐波　知幸
	豊川	東部中	守田　琴美
社会(小)	岡崎	六名小	可知　周平
	豊橋	天伯小	和田　香織
社会(中)	岡崎	東海中	坂井　麻緒
算数(小)	岡崎	岡崎小	佐藤　美侑
	岡崎	大樹寺小	三島　雄大
	豊田	浄水北小	松本　織艶
	西尾	矢田小	佐藤　有沙
算数(小)	西尾	一色南部小	加藤　毅
理科(小)	岡崎	福岡小	淺野　貴裕
	西尾	一色南部小	加藤　毅
理科(中)	刈谷	富士松中	高橋　周聖
	新城	東郷中	松井　優也
音楽(小)	岡崎	六名小	波多野愛子
	岡崎	矢作東小	加藤こころ
音楽(中)	蒲郡	塩津中	藤井　麻衣
図画工作(小)	岡崎	六ツ美北部小	細井　雄介
技術・家庭(中)	みよし	南中	岩本　恵
体育(小)	岡崎	男川小	伊奈　亨
	岡崎	連尺小	光田　理菜
	豊川	御油小	井上　喜友
	田原	清田小	間瀬　未来
保健体育(中)	岡崎	東海中	有田　海人
	北設楽	東栄中	佐々木崇太
外国語活動・外国語(小)	岡崎	六名小	北山　貴一
外国語(中)	高浜	南中	木原　聡志
	蒲郡	中部中	清水　万愛
生活(小)	岡崎	美合小	今村　有佐
	岡崎	大樹寺小	福岡　真幸
	蒲郡	形原小	田中　志歩
	田原	伊良湖岬小	金田　匡嗣
道徳(小)	高浜	港小	藤岡依久江
学校保健(小)	豊田	山之手小	山下　藍
特別支援教育(小)	豊田	伊保小	風呂谷未幸
特別支援教育(中)	岡崎	城北中	川村　真輝
総合的な学習(小)	岡崎	六ツ美北部小	杉浦　由菜
	西尾	西尾小	加藤光一郎
	蒲郡	竹島小	山田　芽依
情報教育(小)	豊田	飯野小	森岡　進弥
情報教育(中)	豊田	美里中	鈴木　一輝

〈3年次〉(10名)

研究領域	郡　市	学校名	氏　名	研　究　主　題
国語(小)	岡崎	緑丘小	三島　萌衣	言葉による見方・考え方をはたらかせ、登場人物の心情や物語の展開を捉えることができる児童の育成
	田原	亀山小	柴田　賢	学習課題を自分事として捉え、言葉を選んで、自分の思いを表現できる児童の育成
社会(小)	安城	安城東部小	髙野　翼	社会的な見方・考え方を働かせながら、よりよい社会づくりに参画しようとする児童の育成
理科(中)	岡崎	翔南中	柴田　翔平	未来をたくましく生きる力を育む理科授業
	田原	田原中	鈴木　健斗	自然事象にすすんで関わり、他者と協働しながら考えを深めていける子の育成
外国語(中)	岡崎	甲山中	杉浦　健太	十分なインプットを通して自分の英語に自信をもち他者と共に自分の学びをよりよくする生徒の育成
生活(小)	蒲郡	蒲郡北部小	廣瀬　莉子	主体的に自分ができることを考え、動き始める子の育成
総合的な学習(小)	碧南	西端小	小島　美保	探究的・協働的に学び合い、主体的に活動に取り組む子の育成
	蒲郡	蒲郡東部小	坪田ちはる	かかわりの中で自ら学び、未来に向けて自信をもって自分を表現する子の育成
情報教育(小)	西尾	福地南部小	岩田　瑠一	情報活用能力を身につけ、情報社会をよりよく生きる子の育成

● 1～3年次申請の選考を終えて ●

中村　賢司　審査副委員長（西尾市立東部中学校長）

本年度の個人研究助成の申請および交付状況は以下のとおりです。

１年次は215点の申請に対して178名への助成、２年次は196点の申請に対して50名への助成、３年次では46点の申請に対して10名への助成をしました。

１年次では、目の前の子どものよさをさらに伸ばしていこうという記述が多く見られ、子どもありきの考え方が浸透していると感じました。２・３年次では、子どもの思いを出発点として単元を構想し、計画的に学習活動が進められたことが読み取れました。また、学習意欲を高める教材が効果的に活用されている実践も多く、授業づくりに対する真摯で熱心な取組の様子がよく伝わってきて、好感がもてました。

以下、選考審査において気づいたことを述べます。

＜１年次＞

・生活の中で子ども自身が疑問に感じたことや、知っているようで知らないことをもとにして教材が開発され、目指す姿を具現化するための手立てが工夫されていました。一方で、学習を通してどんな力を子どもにつけたいのかを十分に読み取れないものも散見されました。子どものとらえや養いたい力を明確にすることで、子どもの学びはさらに深いものになると考えます。

・「多様な解釈」「批判的に読む」など、これからの社会を生き抜いていく上で不可欠と思われる資質を育てたいという授業者の熱い思いが伝わるものがありました。また、「問いづくり」という、子どもの主体性を大切にした展開も多く見られました。

＜２・３年次＞

・子どもの思いに寄り添い、支えるための手立てを効果的に位置づけて、単元を構想されている実践が多くありました。また、自分の考えに自信をもたせるための手立てや、かかわらせ方を工夫する中で、子ども自身の気付きや学びを大切にした学習活動を展開し、主体的に学びに向かう姿勢を育もうとされていることに感心しました。

・「抽出児童生徒が定まっていない」、「目指す姿とのつながりが弱い」、「手立ての有効性を述べるための根拠が弱い」など、子どもの変容を見極めようとする記述が十分でないものがありました。目指す子どもの姿を明確にするとともに、授業記録等の資料を適切に示し、その分析を丁寧に行う中で、子どもの変容を追い、講じた手立ての有効性を述べていくことで論述の説得力が増します。この営みにより実践者の授業力もさらに高まるものと期待しています。

研究成果論文提出者の紹介 （令和５～７年度の研究）

令和５年度を研究１年次として、令和７年度までの３年間、着実に研究を推進され、成果を見事に論文として提出された10名の先生方を紹介します。

Research result report



国　語

岡崎・梅園小　**磯田ひかる**

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることができる国語科の授業



国　語

岡崎・梅園小　**髙橋　侑也**

意欲的に課題解決に取り組み、自分の意見を深く追究できる子供の育成



国　語

豊橋・鷹丘小　**太箸　華子**

ＩＣＴ機器を効果的に活用し、他者と関わり合うことで、自分の思いや考えを整理して、伝えたいことを表現できる子の育成



国　語

豊川・千両小　**藤城　秀幸**

感じたことを仲間と共有するおもしろさを味わい、読み進め、他の学習へと生かそうとする児童の育成



社　会

岡崎・六ツ美中部小　**江本　望**

よりよい社会への参画を模索する子供の育成



算　数

豊田・朝日小　**舘山　俊平**

自ら選択して主体的に学習に取り組み、学んだことを日常生活に生かす児童の育成



体　育

岡崎・矢作東小　**野村　隼斗**

運動する楽しさや喜びを味わい、仲間と学びを深めていく子供



保健体育

岡崎・福岡中　**後藤　麻由**

仲間とともに運動する楽しさや喜びを味わい、自ら学びを深めていく体育学習



生　活

豊橋・大清水小　**服部　誠也**

体験活動を通して、気づいたことを関連づけることで、学びを深める子の育成



情報教育

豊橋・中野小　**川上潤一郎**

ＩＣＴの活用や体験学習を通して、仕事の魅力について情報発信し、考えを深める子の育成

コンクール関係

○みかわ彩発見絵画コンクール（秋・冬の部）
応募期間　令和８年12月14日㈪～令和９年１月12日㈫

○かきぞめコンクール
応募期間　令和９年１月４日㈪～１月７日㈭

○作品展（絵画・かきぞめ同時開催）
展示場所　三河教育会館
展示日時　令和９年２月５日㈮・２月６日㈯
午前９時30分～午後３時30分
優秀作品表彰式　令和９年２月７日㈰

使用報告・刊行物注文等締切

◇使用報告／冬休み日誌、かきぞめ手本、硬筆用紙、賞状
報告期間　令和８年12月８日㈫～10日㈭

◇令和９年度版刊行物第Ⅰ期当初注文
注文期間　令和９年１月６日㈬～14日㈭

□刊行物学校モニター研究調査（依頼校のみ）
報告締切　令和８年11月25日㈫
※かきぞめ手本は令和８年12月14日㈪

□教育図書出版助成
申請締切　令和８年11月30日㈪

□郡市教育・研究助成、学校教育ボランティア助成の実績報告書等
報告締切　令和９年２月26日㈮

「作文の友」の一部を抜粋し、PDFで無償提供しています。

題材や構成を考え、気持ちを込めて丁寧に書くという営みは、子どもたちにとって重要な学習活動です。「作文の友」は、その営みを効果的に支えます。

そこで、「作文の友」を広く知っていただくために、編集委員がおすすめする一つの章を全学年分提供しています。新たに単元を設けなくとも、授業の中で活用できる内容です。

ぜひ使っていただき、効果を感じていただけたなら、来年度の採用をご検討いただけると幸いです。



無償提供している各学年の章と内容

１年生	おはなしをかこう	（登場人物を考えて物語を書く）
２年生	こんなことをしているよ	（家でしていることを友達に伝える）
３年生	道具のひみつをつたえよう	（調べ、整理し、レポートを書く）
４年生	詩を書こう	（言葉から想像を広げて詩を書く）
５年生	どう考える？もしもの技術	（反対意見を予想して書く）
６年生	発信しよう、私たちのSDGs	（相手や目的に応じて発信する）

データ掲載場所／本法人ホームページ ＞ 学校関係用 ＞ 三河の先生応援ページ

刊行物に対するご意見・ご要望を「モニターBOX」からお寄せください。

本法人ホームページにリンクボタンがあります。

「モニターBOX」に寄せられた意見と対応

◇「国語の学習」

●ご意見　テストの氏名欄を大きくしていただきたいです。単元名の欄に余白があるので、上に広げられると、低学年児童でも、書きやすくなると思います。ご検討ください。

●対　応　令和９年度版（１・２年生）の氏名欄を上下に広げます。



文振の最新情報は、ホームページ及び毎月初めに配信されるメールマガジン「文振だより」をご覧ください。各種応募要項、申請書の様式等もアップしています。

教育と文化　令和8年11月1日号　No.142
発行／公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868　岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
TEL 0564-51-4819
https://www.bunsin.org

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。